

登米市の環境についての事業所アンケート調査 調査結果報告書

- 1 対象
市内事業所 200事業所（無作為抽出）
- 2 調査期間
令和7年4月1日（火）から令和7年4月30日（水）まで
ただし、集計期間中（5月30日まで）に提出のあった回答は有効とした。
- 3 調査方法
 - (1) 調査用紙の配付
郵送による。
 - (2) 調査用紙の回収方法
郵送、総合支所への提出、WEB回答（Logoフォーム）とした。
 - ①総合支所への提出 なし
 - ②WEB回答 30件（全回収数の約28.0%）

- 4 調査項目
調査項目は全19項目（質問）とした。
回答方法については、問19のみ記述式、他はすべて選択式とした。

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 貴事業所の登米市内での従業員数（臨時の従業員、派遣社員等を含む）は次のうちどれですか。 |
| 問2 | 登米市は今後しばらくの間、環境と開発のどちらにより力を入れるべきだと思いますか。 |
| 問3 | 登米市は、環境と産業（経済）のどちらを優先すべきだと思いますか。 |
| 問4 | 登米市が環境対策として最も急いで進めるべきものは、何であると考えていますか。 |
| 問5 | 登米市の環境行政に最も望むことはなんですか。 |
| 問6 | 貴事業所における環境への重視度をお答えください。 |
| 問7 | 貴事業所は、環境に配慮している方だと思いますか。 |
| 問8 | 環境への配慮は、経営にプラスだととらえていますか、マイナスだととらえていますか。 |
| 問9 | 貴事業所では、環境マネジメントシステムの導入についてどう対応していますか。 |
| 問10 | 貴事業所では、グリーン購入（環境にやさしい物品等の購入）について、どう対応していますか。 |
| 問11 | 貴事業所では、地球温暖化対策のため、二酸化炭素などの温室効果ガス排出量削減の取組を行っていますか。 |
| 問12 | 貴事業所では、太陽光発電やバイオマス等の再生可能エネルギーについてどう対応していますか。 |
| 問13 | 貴事業所では、環境ビジネスについてどう考えていますか。 |
| 問14 | 貴事業所では、従業員に対する環境教育についてどのように対応していますか。 |
| 問15 | 貴事業所での環境配慮の取組を、市民や他事業所等に紹介することは可能ですか。 |
| 問16 | 貴事業所では、環境保全に関する社会活動（植林、清掃など）についてどう考えていますか。 |
| 問17 | 貴事業所では、資源ごみのリサイクルについてどのように対応していますか。 |
| 問18 | 貴事業所で最も関心のある環境問題は、次のうちどれですか。 |
| 問19 | 環境問題、環境行政に関してご意見やご要望がありましたらご記入ください。 |

登米市の環境についての事業所アンケート

【回答結果】

1 回収率

今回調査 (令和7年度) (A)			前回調査 (平成26年度) (B)			比較 (A-B)	
配布数 (事業所)	回収数 (事業所)	回収率 (%)	配布数 (事業所)	回収数 (事業所)	回収率 (%)	回収数 (事業所)	回収率 (%)
200	126	63.0	200	132	66.0	▲ 6	▲ 3.0

2 事業所規模（従業員数）区分による回答率（問1）

問1 貴事業所の登米市内での従業員数（臨時の従業員、派遣社員等を含む）は次のうちどれですか。

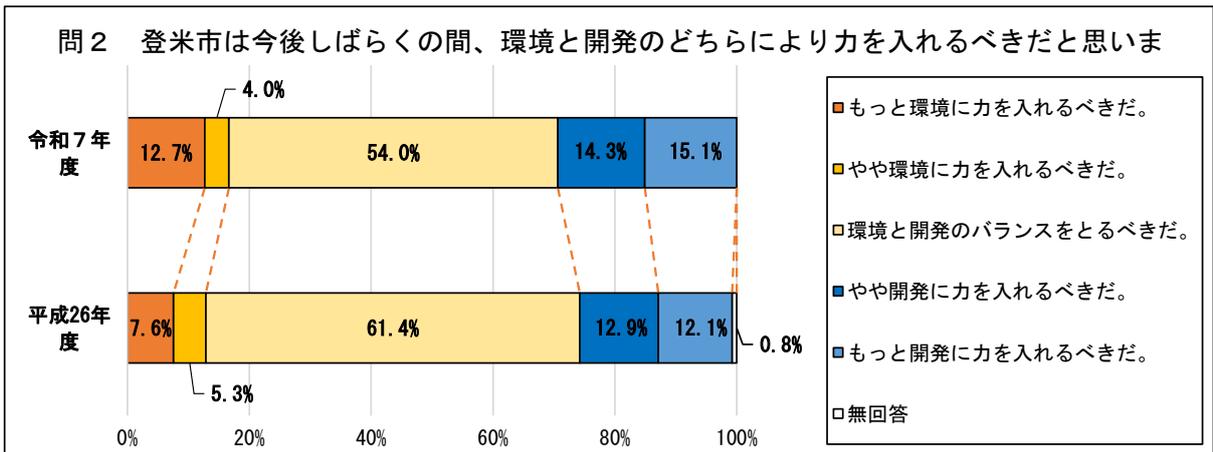
従業員数	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (事業所)	構成比 (%)	回答数 (事業所)	構成比 (%)	回答数 (事業所)	構成比 (%)
1～5人	24	19.0	11	8.3	13	10.7
6～10人	22	17.5	13	9.8	9	7.6
11～30人	33	26.2	53	40.2	▲ 20	▲ 14.0
31～50人	30	23.8	26	19.7	4	4.1
51～100人	9	7.1	16	12.1	▲ 7	▲ 5.0
101～300人	7	5.6	11	8.3	▲ 4	▲ 2.8
301～500人	1	0.8	1	0.8	0	0.0
501人以上	0	0.0	1	0.8	▲ 1	▲ 0.8
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0

登米市の環境についての事業所アンケート調査

3 設問別の回答状況（問2～問18）

問2 登米市は今後しばらくの間、環境と開発のどちらにより力を入れるべきだと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
もっと環境に力を入れるべきだ。	16	12.7	10	7.6	6	5.1
やや環境に力を入れるべきだ。	5	4.0	7	5.3	▲ 2	▲ 1.3
環境と開発のバランスをとるべきだ。	68	54.0	81	61.4	▲ 13	▲ 7.4
やや開発に力を入れるべきだ。	18	14.3	17	12.9	1	1.4
もっと開発に力を入れるべきだ。	19	15.1	16	12.1	3	3.0
無回答	0	0.0	1	0.8	▲ 1	▲ 0.8

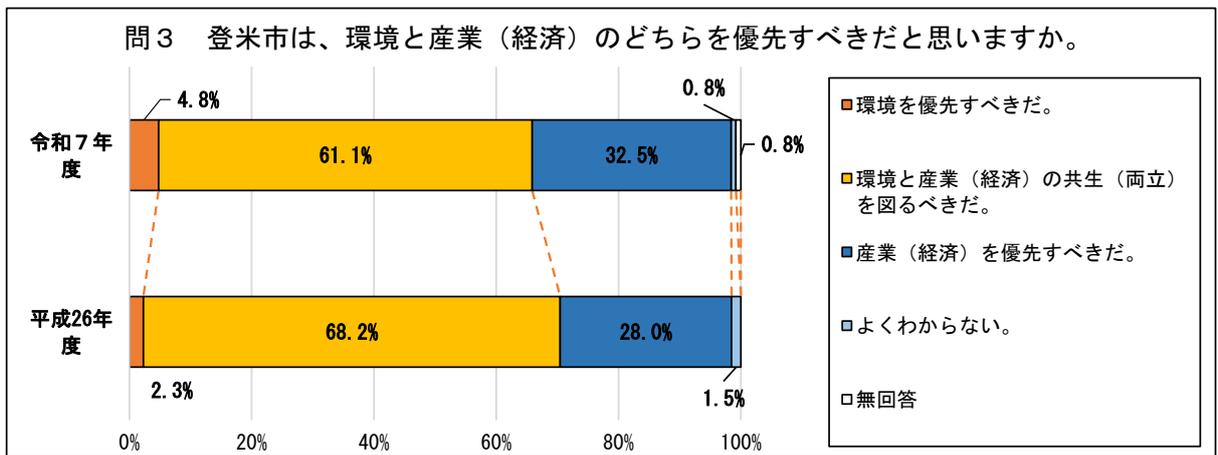


【調査結果の概要】

- ・「環境と開発のバランスをとるべきだ」の割合が54.0%で最も多く、次に「もっと開発に力を入れるべきだ」の割合が15.1%が多かった。
- ・前回と比較して、「環境と開発のバランスをとるべきだ」が7.4%、「やや環境に力を入れるべきだ」が1.3%、それぞれ減少し、「もっと環境に力を入れるべきだ」が5.1%、「やや開発に力を入れるべきだ」が1.4%、「もっと開発に力を入れるべきだ」が3.0%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「もっと環境に力を入れるべきだ」の割合が最も増加したものの、前回同様に環境よりも開発に力を入れるべきという回答の割合が多かった。

問3 登米市は、環境と産業（経済）のどちらを優先すべきだと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
環境を優先すべきだ。	6	4.8	3	2.3	3	2.5
環境と産業（経済）の共生（両立）を図るべきだ。	77	61.1	90	68.2	▲ 13	▲ 7.1
産業（経済）を優先すべきだ。	41	32.5	37	28.0	4	4.5
よくわからない。	1	0.8	2	1.5	▲ 1	▲ 0.7
無回答	1	0.8	0	0.0	1	0.8

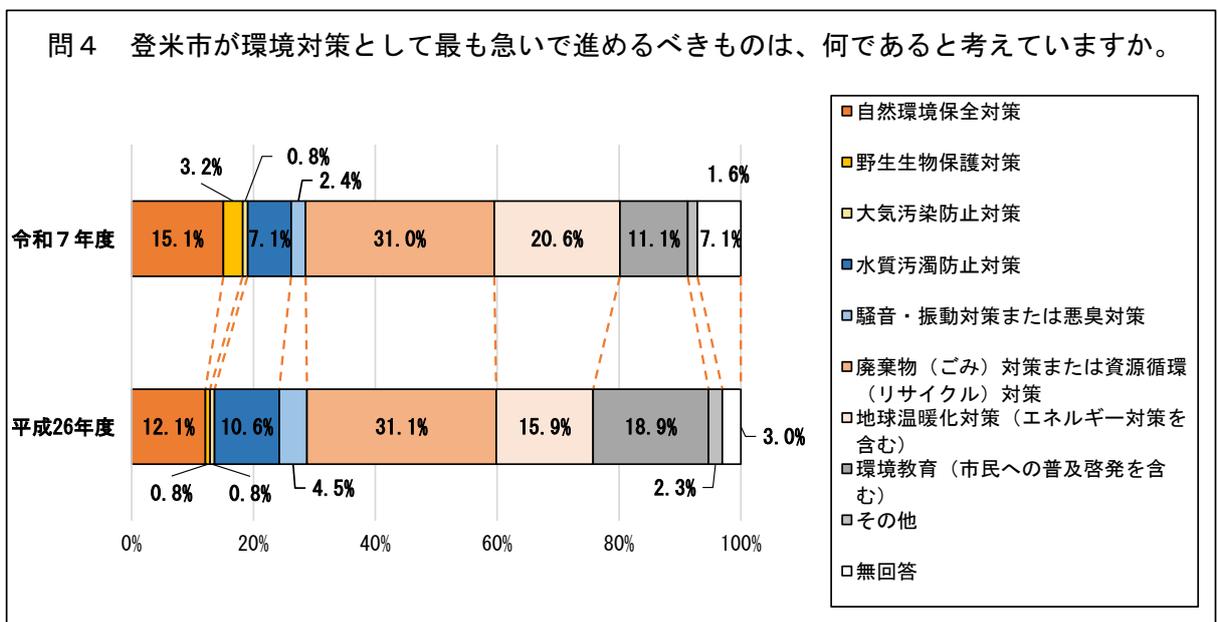


【調査結果の概要】

- ・「環境と産業の共生を図るべきだ」の割合が61.1%で最も多かった。
- ・前回と比較して、「環境と産業の共生を図るべきだ」が7.1%減少し、「環境を優先すべきだ」が2.5%、「産業を優先すべきだ」が4.5%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「産業を優先すべきだ」の割合が多く、前回同様に環境よりも産業を優先すべきという回答の割合が多かった。

問4 登米市が環境対策として最も急いで進めるべきものは、何であると考えていますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
自然環境保全対策	19	15.1	16	12.1	3	3.0
野生生物保護対策	4	3.2	1	0.8	3	2.4
大気汚染防止対策	1	0.8	1	0.8	0	0.0
水質汚濁防止対策	9	7.1	14	10.6	▲5	▲3.5
騒音・振動対策または悪臭対策	3	2.4	6	4.5	▲3	▲2.2
廃棄物（ごみ）対策または資源循環 （リサイクル）対策	39	31.0	41	31.1	▲2	▲0.1
地球温暖化対策（エネルギー対策を含む）	26	20.6	21	15.9	5	4.7
環境教育（市民への普及啓発を含む）	14	11.1	25	18.9	▲11	▲7.8
その他	2	1.6	3	2.3	▲1	▲0.7
無回答	9	7.1	4	3.0	5	4.1



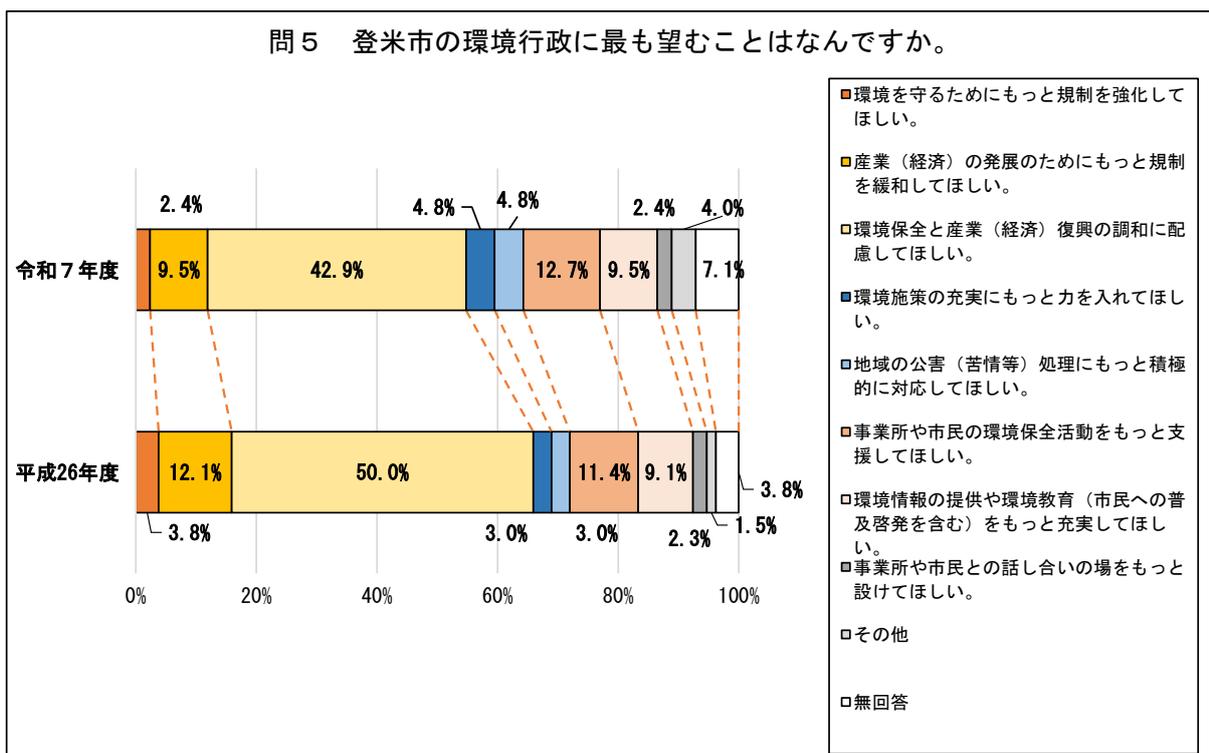
【調査結果の概要】

- ・「廃棄物対策・資源循環対策」の割合が31.0%で最も多く、続いて「地球温暖化対策」が20.6%、「自然環境保全対策」が15.1%であった。
- ・前回と比較して、「水質汚濁防止対策」が3.5%、「騒音・振動対策・悪臭対策」が2.1%、「環境教育」が7.8%、それぞれ減少し、「自然環境保全対策」が3.0%、「野生生物保護対策」が2.4%、「地球温暖化対策」が4.7%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、前回に引き続き「廃棄物対策・資源循環対策」の割合が多かったものの、「環境教育」の割合が減少した一方で、「自然環境保全対策」と「地球温暖化対策」の割合が多くなっており、社会的な関心度の高さが反映されていると考えられる。
- ・その他では、主に「空き家問題」という回答であった。

問5 登米市の環境行政に最も望むことはなんですか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
環境を守るためにもっと規制を強化してほしい。	3	2.4	5	3.8	▲ 2	▲ 1.4
産業（経済）の発展のためにもっと規制を緩和してほしい。	12	9.5	16	12.1	▲ 4	▲ 2.6
環境保全と産業（経済）復興の調和に配慮してほしい。	54	42.9	66	50.0	▲ 12	▲ 7.1
環境施策の充実にもっと力を入れてほしい。	6	4.8	4	3.0	2	1.7
地域の公害（苦情等）処理にもっと積極的に対応してほしい。	6	4.8	4	3.0	2	1.7
事業所や市民の環境保全活動をもっと支援してほしい。	16	12.7	15	11.4	1	1.3
環境情報の提供や環境教育（市民への普及啓発を含む）をもっと充実してほしい。	12	9.5	12	9.1	0	0.4
事業所や市民との話し合いの場をもっと設けてほしい。	3	2.4	3	2.3	0	0.1
その他	5	4.0	2	1.5	3	2.5
無回答	9	7.1	5	3.8	4	3.4

問5 登米市の環境行政に最も望むことはなんですか。

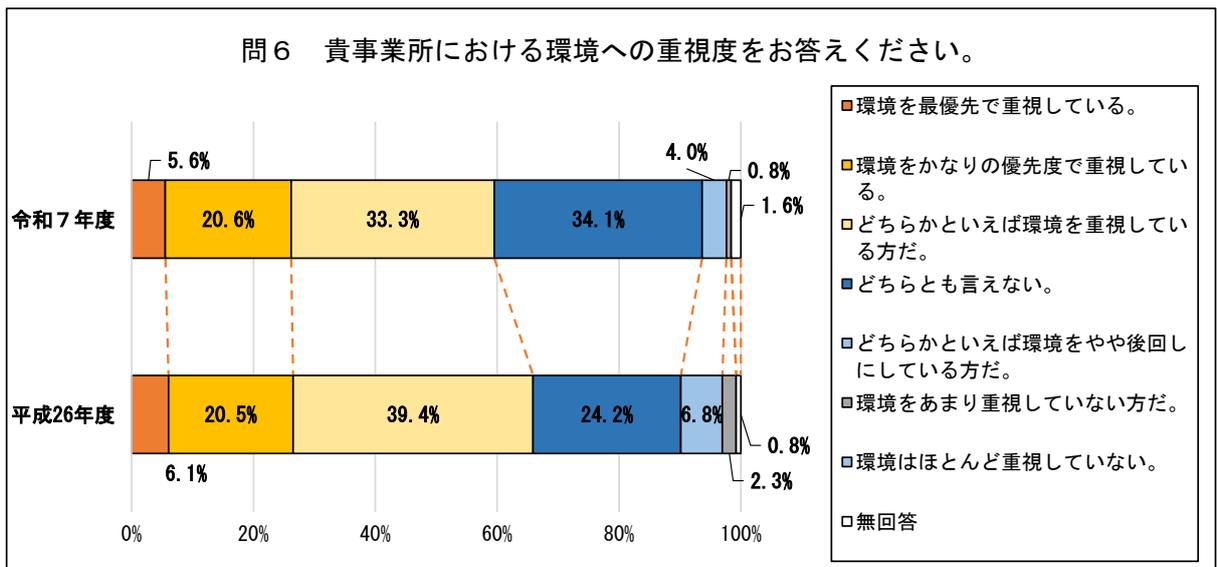


【調査結果の概要】

- ・「環境保全と産業（経済）復興の調和に配慮してほしい」の割合が42.9%で最も多く、続いて「事業所や市民の環境保全活動をもっと支援してほしい」が12.7%であった。
- ・前回と比較して、「環境保全と産業（経済）復興の調和に配慮してほしい」が7.1%、「産業（経済）の発展のためにもっと規制を緩和してほしい」が2.6%、「環境を守るためにもっと規制を強化してほしい」が1.4%、それぞれ減少し、「環境施策の充実にもっと力を入れてほしい」が1.7%、「地域の公害（苦情等）処理にもっと積極的に対応してほしい」が1.7%、「事業所や市民の環境保全活動をもっと支援してほしい」が1.3%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、前回に引き続き「環境保全と産業（経済）復興の調和に配慮してほしい」の割合が多かったものの、「事業所や市民の環境保全活動をもっと支援してほしい」と「環境情報の提供や環境教育をもっと充実してほしい」の割合が増加した。
- ・その他では、主に「空き家問題」という回答であった。

問6 貴事業所における環境への重視度をお答えください。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
環境を最優先で重視している。	7	5.6	8	6.1	▲ 1	▲ 0.5
環境をかなりの優先度で重視している。	26	20.6	27	20.5	▲ 1	0.2
どちらかといえば環境を重視している方だ。	42	33.3	52	39.4	▲ 10	▲ 6.1
どちらとも言えない。	43	34.1	32	24.2	11	9.9
どちらかといえば環境をやや後回しにしている方だ。	5	4.0	9	6.8	▲ 4	▲ 2.8
環境をあまり重視していない方だ。	1	0.8	3	2.3	▲ 2	▲ 1.5
環境はほとんど重視していない。	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	2	1.6	1	0.8	1	0.8

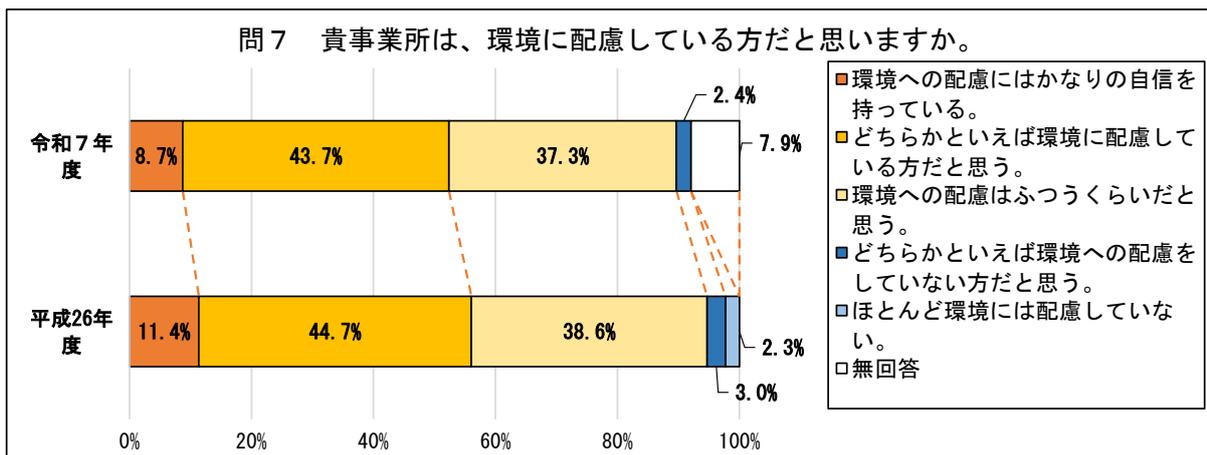


【調査結果の概要】

- ・「どちらとも言えない」の割合が34.1%で最も多く、次に「どちらかといえば環境を重視している方だ」の割合が33.3%で多かった。
- ・前回と比較して、「どちらかといえば環境を重視している方だ」が6.1%、「どちらかといえば環境をやや後回しにしている方だ」が2.8%、それぞれ減少し、「どちらとも言えない」が9.9%増加した。
- ・全体としては、「どちらとも言えない」の割合が増加した一方で、「重視している」と「重視していない」いずれも割合が減少した。

問7 貴事業所は、環境に配慮している方だと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
環境への配慮にはかなりの自信を持っている。	11	8.7	15	11.4	▲4	▲2.6
どちらかといえば環境に配慮している方だと思う。	55	43.7	59	44.7	▲4	▲1.0
環境への配慮はふつうくらいだと思う。	47	37.3	51	38.6	▲4	▲1.3
どちらかといえば環境への配慮をしていない方だと思う。	3	2.4	4	3.0	▲1	▲0.6
ほとんど環境には配慮していない。	0	0.0	3	2.3	▲3	▲2.3
無回答	10	7.9	0	0.0	10	7.9

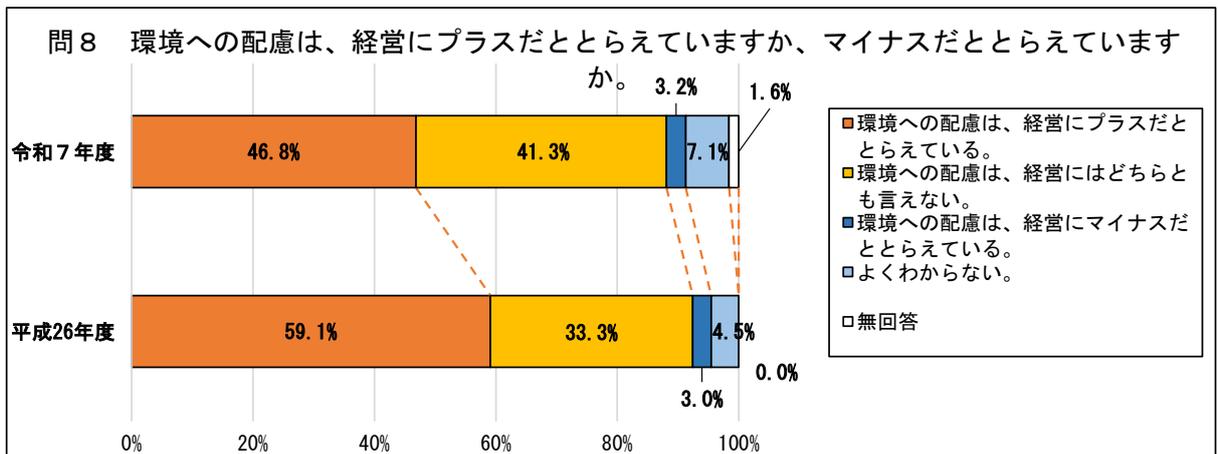


【調査結果の概要】

- ・「どちらかといえば環境に配慮している方だと思う」の割合が43.7%で最も多く、次に「環境への配慮はふつうくらいだと思う」の割合が37.3%が多かった。
- ・前回と比較して、「無回答」の割合が多かったことから、全体的に割合が減少したが、傾向としては前回と同様であった。
- ・「ほとんど環境には配慮していない」は回答がなかった。

問8 環境への配慮は、経営にプラスだととらえていますか、マイナスだととらえていますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
環境への配慮は、経営にプラスだととらえている。	59	46.8	78	59.1	▲ 19	▲ 12.3
環境への配慮は、経営にはどちらとも言えない。	52	41.3	44	33.3	8	7.9
環境への配慮は、経営にマイナスだととらえている。	4	3.2	4	3.0	0	0.1
よくわからない。	9	7.1	6	4.5	3	2.6
無回答	2	1.6	0	0.0	2	1.6



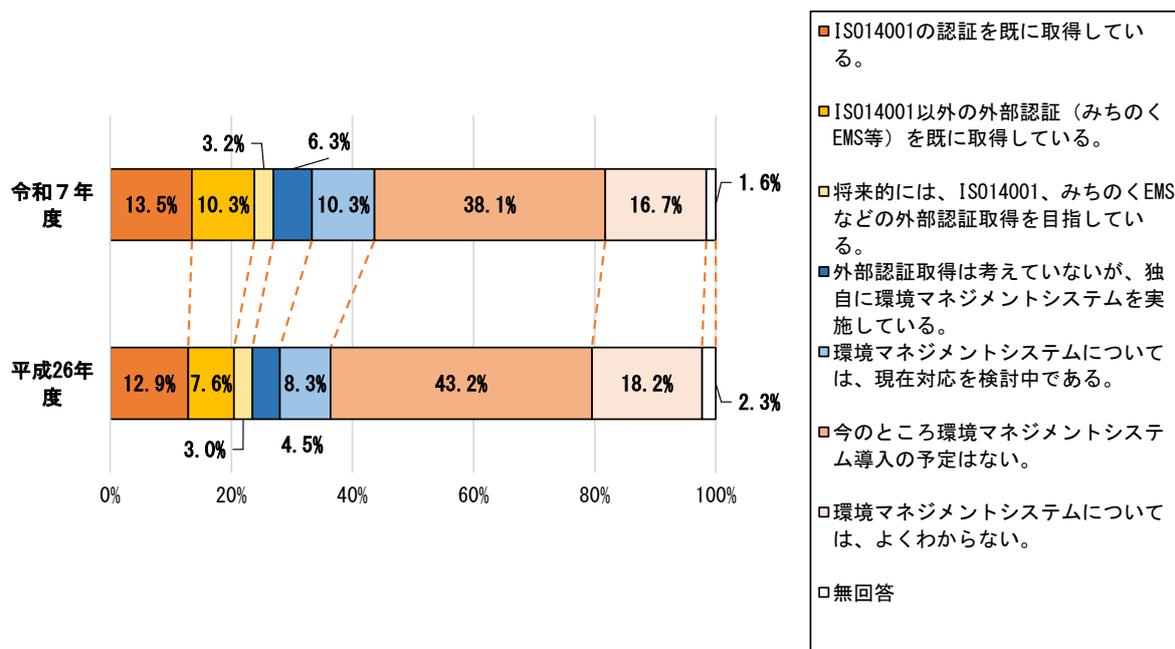
【調査結果の概要】

- ・「環境への配慮は、経営にプラスだととらえている」の割合が46.8%で最も多く、次に「環境への配慮は、経営にはどちらとも言えない」の割合が41.3%が多かった。
- ・前回と比較して、「環境への配慮は、経営にプラスだととらえている」が12.3%減少し、「環境への配慮は、経営にはどちらとも言えない」が7.9%、「よくわからない」が2.6%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「どちらとも言えない」と「よくわからない」の割合が増加し、環境への配慮の経営への影響がわかりづらくなっているということが考えられる。

問9 貴事業所では、環境マネジメントシステムの導入についてどう対応していますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
ISO14001の認証を既に取得している。	17	13.5	17	12.9	0	0.6
ISO14001以外の外部認証（みちのくEMS等）を既に取得している。	13	10.3	10	7.6	3	2.7
将来的には、ISO14001、みちのくEMSなどの外部認証取得を目指している。	4	3.2	4	3.0	0	0.1
外部認証取得は考えていないが、独自に環境マネジメントシステムを実施している。	8	6.3	6	4.5	2	1.8
環境マネジメントシステムについては、現在対応を検討中である。	13	10.3	11	8.3	2	2.0
今のところ環境マネジメントシステム導入の予定はない。	48	38.1	57	43.2	▲ 9	▲ 5.1
環境マネジメントシステムについては、よくわからない。	21	16.7	24	18.2	▲ 3	▲ 1.5
無回答	2	1.6	3	2.3	▲ 1	▲ 0.7

問9 貴事業所では、環境マネジメントシステムの導入についてどう対応していますか。

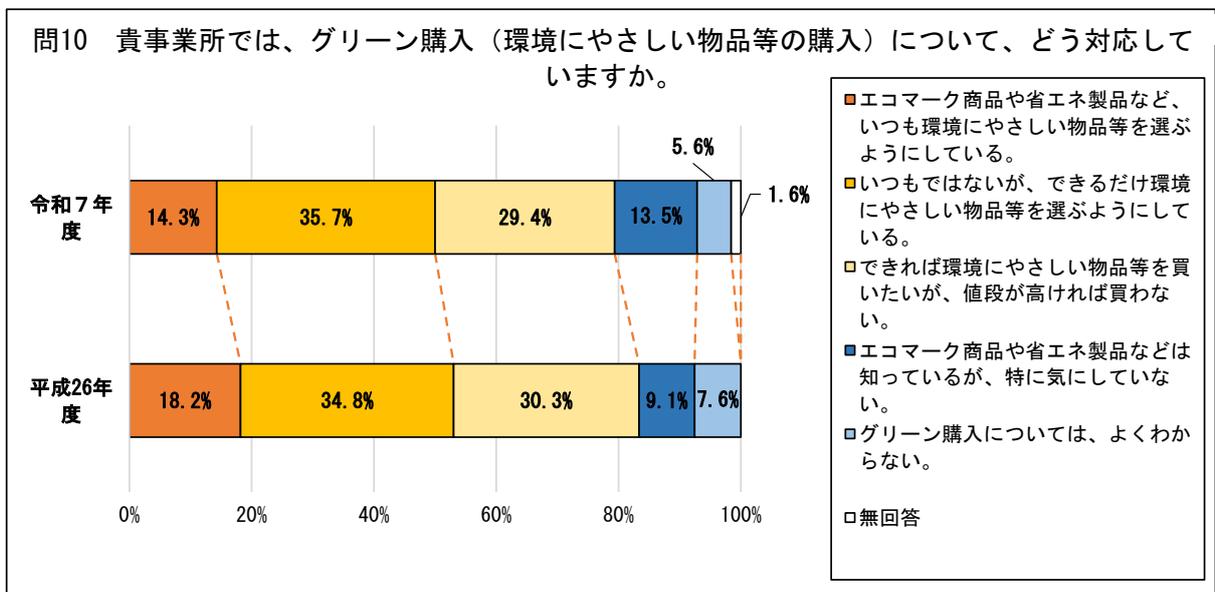


【調査結果の概要】

- ・「今のところ環境マネジメントシステム導入の予定はない」の割合が38.1%で最も多く、次に「環境マネジメントシステムについては、よくわからない」の割合が16.7%が多かった。
- ・前回と比較して、「今のところ環境マネジメントシステム導入の予定はない」が5.1%、「環境マネジメントシステムについては、よくわからない」が1.5%、それぞれ減少し、「ISO14001以外の外部認証を既に取得している」が2.7%、「外部認証取得は考えていないが、独自に環境マネジメントシステムを実施している」が1.8%、「環境マネジメントシステムについては、現在対応を検討中である」が2.0%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「予定はない」と「よくわからない」の割合が多かったものの、「導入している」や「導入を検討している」の割合が増加した。

問10 貴事業所では、グリーン購入（環境にやさしい物品等の購入）について、どう対応していますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
エコマーク商品や省エネ製品など、いつも環境にやさしい物品等を選ぶようにしている。	18	14.3	24	18.2	▲ 6	▲ 3.9
いつもではないが、できるだけ環境にやさしい物品等を選ぶようにしている。	45	35.7	46	34.8	▲ 1	0.9
できれば環境にやさしい物品等を買いたいですが、値段が高ければ買わない。	37	29.4	40	30.3	▲ 3	▲ 0.9
エコマーク商品や省エネ製品などは知っているが、特に気にしていない。	17	13.5	12	9.1	5	4.4
グリーン購入については、よくわからない。	7	5.6	10	7.6	▲ 3	▲ 2.0
無回答	2	1.6	0	0.0	2	1.6



【調査結果の概要】

・「いつもではないが、できるだけ環境にやさしい物品等を選ぶようにしている」の割合が35.7%で最も多く、次に「できれば環境にやさしい物品等を買いたいですが、値段が高ければ買わない」の割合が29.4%が多かった。

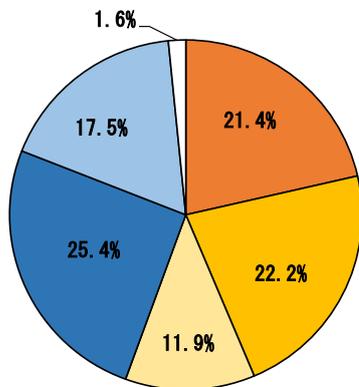
・前回と比較して、「エコマーク商品や省エネ製品など、いつも環境にやさしい物品等を選ぶようにしている」が3.9%、「グリーン購入については、よくわからない」が2.0%、それぞれ減少し、「エコマーク商品や省エネ製品などは知っているが、特に気にしていない」が4.4%増加した。

・全体としては、「いつも、またはできるだけ選ぶようにしている」の割合が多かったものの、「特に気にしていない」の割合だけが増加した。

問11 貴事業所では、地球温暖化対策のため、二酸化炭素などの温室効果ガス排出量削減の取組を行っていますか

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)	
	回答数 (人)	構成比 (%)
温室効果ガス排出量削減の取組を行っており、排出量を把握している。	27	21.4
温室効果ガス排出量削減の取組を行っているが、排出量は把握していない。	28	22.2
今のところ、温室効果ガス排出量削減の取組を行っていないが、今後、予定している。	15	11.9
今のところ、温室効果ガス排出量削減の取組を行っておらず、今後も予定していない。	32	25.4
温室効果ガス排出量削減の取組方法がわからない。	22	17.5
無回答	2	1.6

問11 貴事業所では、地球温暖化対策のため、二酸化炭素などの温室効果ガス排出量削減



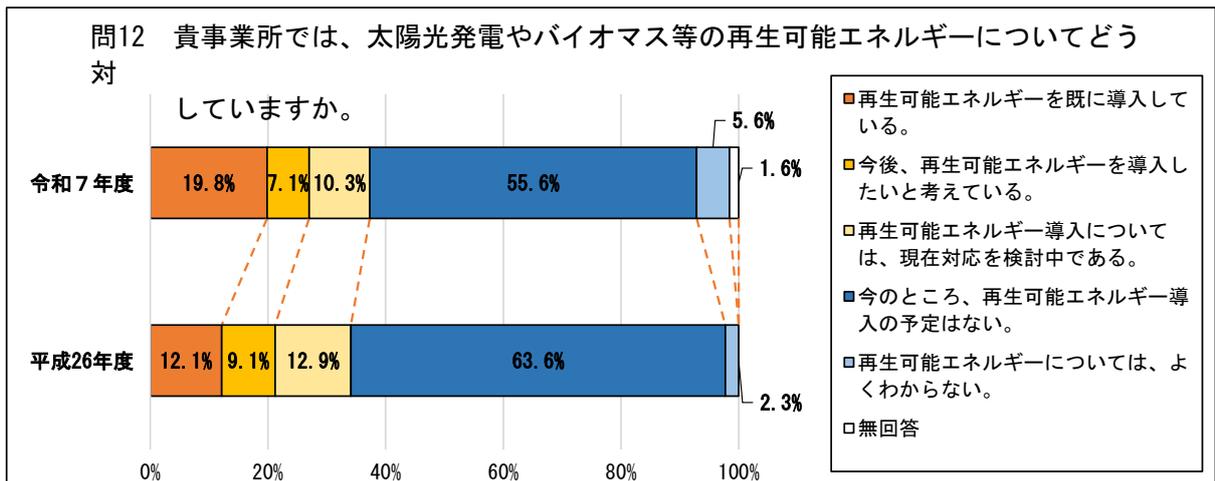
- 温室効果ガス排出量削減の取組を行っており、排出量を把握している。
- 温室効果ガス排出量削減の取組を行っているが、排出量は把握していない。
- 今のところ、温室効果ガス排出量削減の取組を行っていないが、今後、予定している。
- 今のところ、温室効果ガス排出量削減の取組を行っておらず、今後も予定していない。
- 温室効果ガス排出量削減の取組方法がわからない。
- 無回答

【調査結果の概要】

- ・「今のところ、温室効果ガス排出量削減の取組を行っておらず、今後も予定していない」の割合が25.4%で最も多く、続いて「温室効果ガス排出量削減の取組を行っているが、排出量は把握していない」の割合が22.2%、「温室効果ガス排出量削減の取組を行っており、排出量を把握している」の割合が21.4%であった。
- ・全体としては、「取組を行っている」の割合は43.7%、「予定している」が11.9%と、50%以上が取組を行っているか予定していると回答した。また、「取組方法がわからない」の割合が17.5%であった。
- ・新設の設問のため、前回比較はなし。

問12 貴事業所では、太陽光発電やバイオマス等の再生可能エネルギーについてどう対応していますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
再生可能エネルギーを既に導入している。	25	19.8	16	12.1	9	7.7
今後、再生可能エネルギーを導入したいと考えている。	9	7.1	12	9.1	▲ 3	▲ 1.9
再生可能エネルギー導入については、現在対応を検討中である。	13	10.3	17	12.9	▲ 4	▲ 2.6
今のところ、再生可能エネルギー導入の予定はない。	70	55.6	84	63.6	▲ 14	▲ 8.1
再生可能エネルギーについては、よくわからない。	7	5.6	3	2.3	4	3.3
無回答	2	1.6	0	0.0	2	1.6

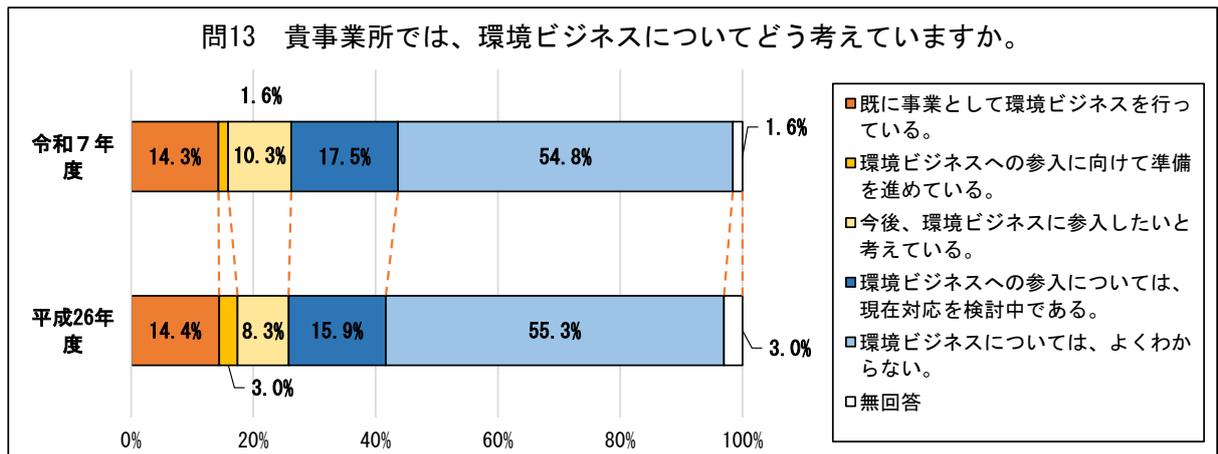


【調査結果の概要】

・「今のところ、再生可能エネルギー導入の予定はない」の割合が55.6%で最も多く、次に「再生可能エネルギーを既に導入している」の割合が19.8%で多かった。
 ・前回と比較して、「今後、再生可能エネルギーを導入したいと考えている」が1.9%、「再生可能エネルギー導入については、現在対応を検討中である」が2.6%、「今のところ、再生可能エネルギー導入の予定はない」が8.1%、それぞれ減少し、「再生可能エネルギーを既に導入している」が7.7%、「再生可能エネルギーについては、よくわからない」が3.3%、それぞれ増加した。
 ・全体としては、「導入している」の割合が増加し、普及が進んでいると考えられる一方で、「よくわからない」の割合も増加した。

問13 貴事業所では、環境ビジネスについてどう考えていますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
既に事業として環境ビジネスを行っている。	18	14.3	19	14.4	▲ 1	▲ 0.1
環境ビジネスへの参入に向けて準備を進めている。	2	1.6	4	3.0	▲ 2	▲ 1.4
今後、環境ビジネスに参入したいと考えている。	13	10.3	11	8.3	2	2.0
環境ビジネスへの参入については、現在対応を検討中である。	22	17.5	21	15.9	1	1.6
環境ビジネスについては、よくわからない。	69	54.8	73	55.3	▲ 4	▲ 0.5
無回答	2	1.6	4	3.0	▲ 2	▲ 1.4

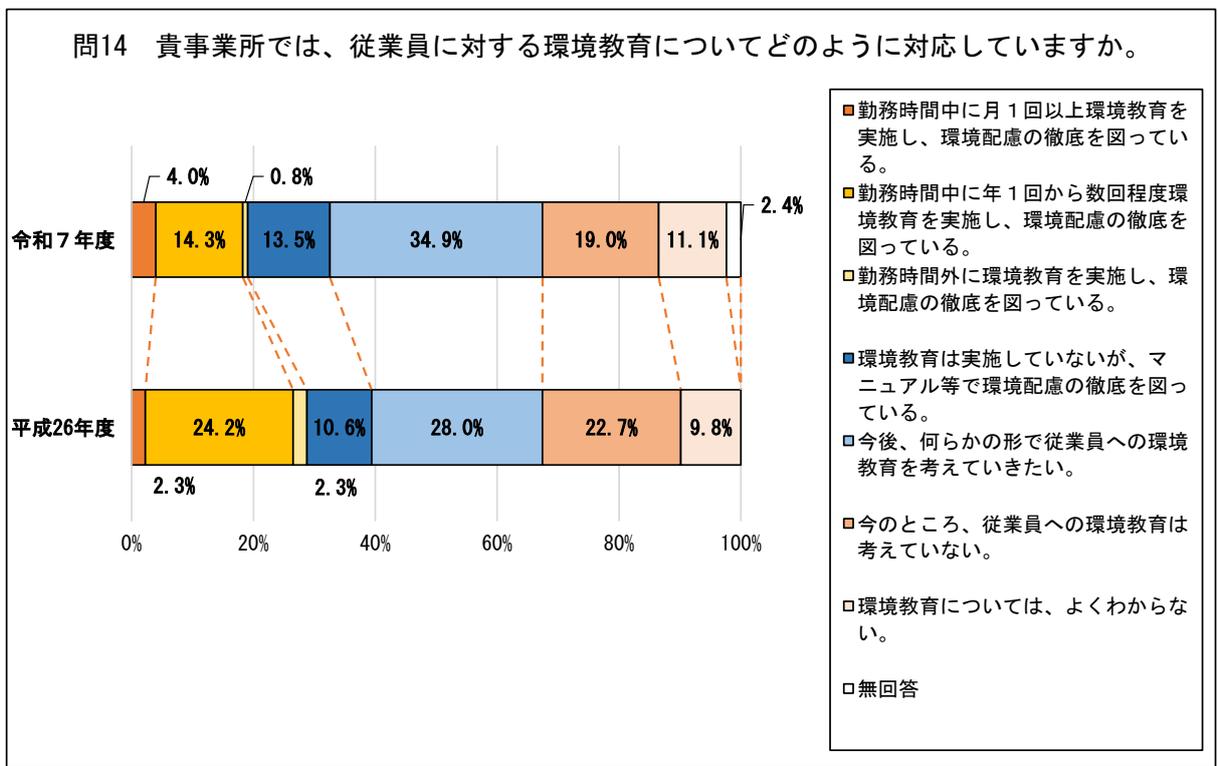


【調査結果の概要】

・「環境ビジネスについては、よくわからない」の割合が54.8%で最も多く、次に「環境ビジネスへの参入については、現在対応を検討中である」の割合が17.5%が多かった。
 ・前回と比較して、「環境ビジネスへの参入に向けて準備を進めている」が1.4%、「環境ビジネスについては、よくわからない」が0.5%、それぞれ減少し、「今後、環境ビジネスに参入したいと考えている」が2.0%、「環境ビジネスへの参入については、現在対応を検討中である」が1.6%、それぞれ増加し
 ・全体としては、「よくわからない」の割合が多かったものの、「参入したい」と「検討している」の割合は増加し、関心が高まってきていることが考えられる。

問14 貴事業所では、従業員に対する環境教育についてどのように対応していますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
勤務時間中に月1回以上環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図っている。	5	4.0	3	2.3	2	1.7
勤務時間中に年1回から数回程度環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図っている。	18	14.3	32	24.2	▲ 14	▲ 10.0
勤務時間外に環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図っている。	1	0.8	3	2.3	▲ 2	▲ 1.5
環境教育は実施していないが、マニュアル等で環境配慮の徹底を図っている。	17	13.5	14	10.6	3	2.9
今後、何らかの形で従業員への環境教育を考えていきたい。	44	34.9	37	28.0	7	6.9
今のところ、従業員への環境教育は考えていない。	24	19.0	30	22.7	▲ 6	▲ 3.7
環境教育については、よくわからない。	14	11.1	13	9.8	1	1.3
無回答	3	2.4	0	0.0	3	2.4



【調査結果の概要】

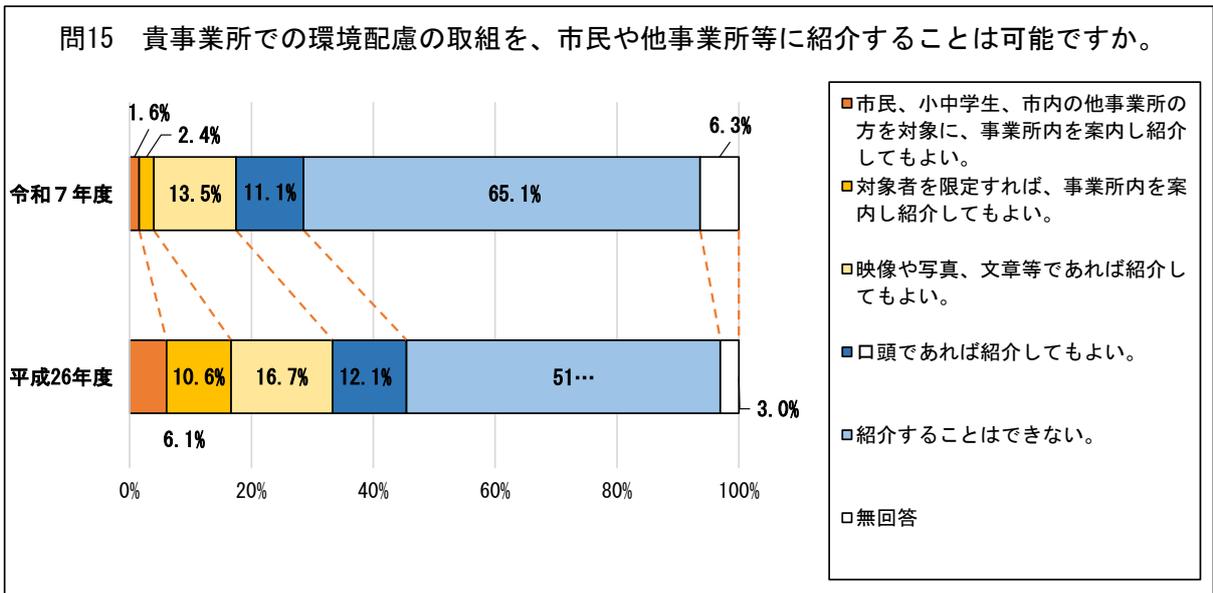
・「今後、何らかの形で従業員への環境教育を考えていきたい」の割合が34.9%で最も多く、次に「今のところ、従業員への環境教育は考えていない」の割合が19.0%が多かった。

・前回と比較して、「勤務時間中に年1回から数回程度環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図っている」が10.0%、「勤務時間外に環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図っている」が1.5%、「今のところ、従業員への環境教育は考えていない」が3.7%、それぞれ減少し、「勤務時間中に月1回以上環境教育を実施し、環境配慮の徹底を図っている」が1.7%、「環境教育は実施していないが、マニュアル等で環境配慮の徹底を図っている」が2.9%、「今後、何らかの形で従業員への環境教育を考えていきたい」が6.9%、「環境教育については、よくわからない」が1.3%、それぞれ増加した。

・全体としては、「実施している」の割合が減少し、「今後考えていきたい」が増加した。

問15 貴事業所での環境配慮の取組を、市民や他事業所等に紹介することは可能ですか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
市民、小中学生、市内の他事業所の方を対象に、事業所内を案内し紹介してもよい。	2	1.6	8	6.1	▲ 6	▲ 4.5
対象者を限定すれば、事業所内を案内し紹介してもよい。	3	2.4	14	10.6	▲ 11	▲ 8.2
映像や写真、文章等であれば紹介してもよい。	17	13.5	22	16.7	▲ 5	▲ 3.2
口頭であれば紹介してもよい。	14	11.1	16	12.1	▲ 2	▲ 1.0
紹介することはできない。	82	65.1	68	51.5	14	13.6
無回答	8	6.3	4	3.0	4	3.3

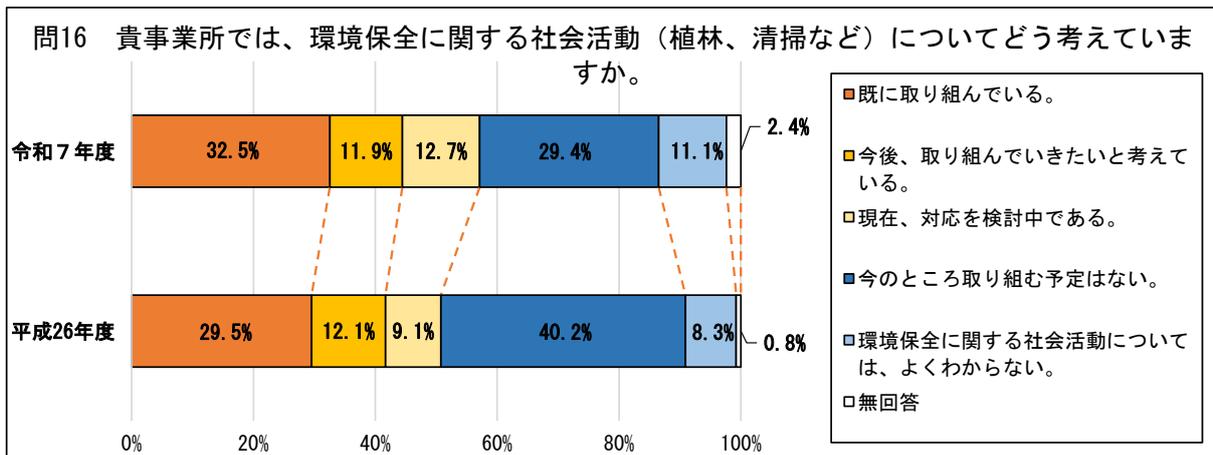


【調査結果の概要】

・「紹介することはできない」の割合が65.1%で最も多く、次に「映像や写真、文章等であれば紹介してもよい」の割合が13.5%が多かった。
 ・前回と比較して、「市民、小中学生、市内の他事業所の方を対象に、事業所内を案内し紹介してもよい」が4.5%、「対象者を限定すれば、事業所内を案内し紹介してもよい」が8.2%、「映像や写真、文章等であれば紹介してもよい」が3.2%、「口頭であれば紹介してもよい」が1.0%、それぞれ減少し、「紹介することはできない」が13.6%増加した。
 ・全体としては、「紹介してもよい」の割合が減少し、「紹介することはできない」の割合が大幅に増加した。

問16 貴事業所では、環境保全に関する社会活動（植林、清掃など）についてどう考えていますか。

回答項目	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
既に取り組んでいる。	41	32.5	39	29.5	2	3.0
今後、取り組んでいきたいと考えている。	15	11.9	16	12.1	▲ 1	▲ 0.2
現在、対応を検討中である。	16	12.7	12	9.1	4	3.6
今のところ取り組む予定はない。	37	29.4	53	40.2	▲ 16	▲ 10.8
環境保全に関する社会活動については、よくわからない。	14	11.1	11	8.3	3	2.8
無回答	3	2.4	1	0.8	2	1.6

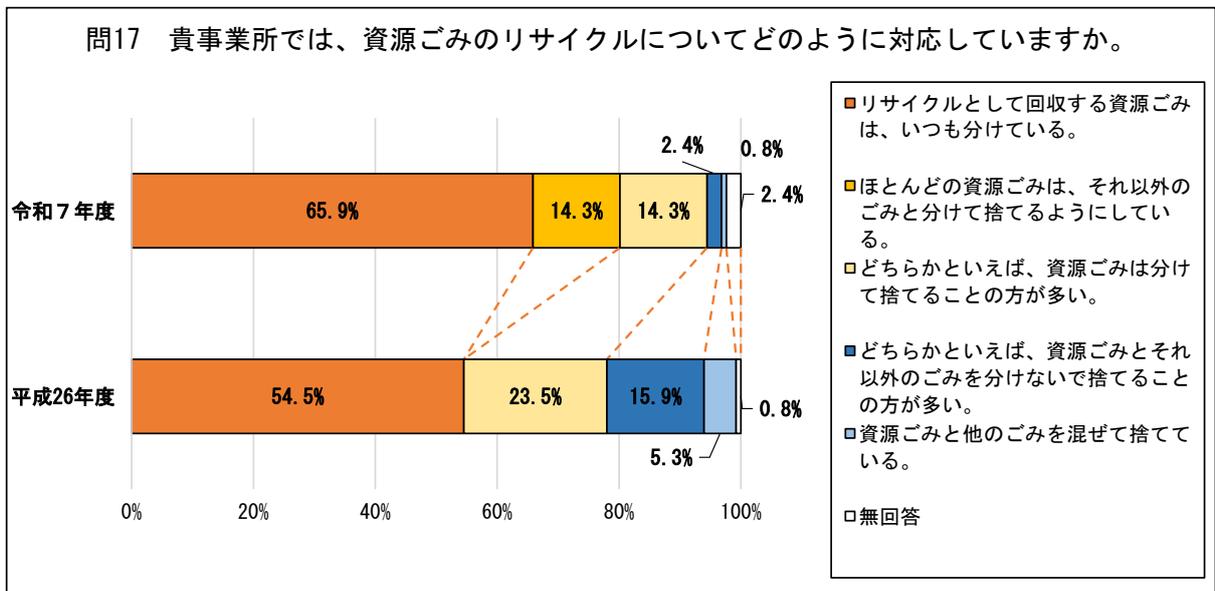


【調査結果の概要】

- ・「既に取り組んでいる」の割合が32.5%で最も多く、次に「今のところ取り組む予定はない」の割合が29.4%が多かった。
- ・前回と比較して、「今のところ取り組む予定はない」が10.8%減少し、「既に取り組んでいる」が3.0%、「現在、対応を検討中である」が3.6%、「環境保全に関する社会活動については、よくわからない」が2.8%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「取り組んでいる」の割合が増加し、「取り組んでいきたい」と「検討中」の割合と合わせると57.1%となっている一方で、「よくわからない」の割合も増加した。

問17 貴事業所では、資源ごみのリサイクルについてどのように対応していますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けている。	83	65.9	72	54.5	11	11.3
ほとんどの資源ごみは、それ以外のごみと分けて捨てるようにしている。	18	14.3	0	0.0	18	14.3
どちらかといえば、資源ごみは分けて捨てることの方が多い。	18	14.3	31	23.5	▲ 13	▲ 9.2
どちらかといえば、資源ごみとそれ以外のごみを分けずに捨てることの方が多い。	3	2.4	21	15.9	▲ 18	▲ 13.5
資源ごみと他のごみを混ぜて捨てている。	1	0.8	7	5.3	▲ 6	▲ 4.5
無回答	3	2.4	1	0.8	2	1.6



【調査結果の概要】

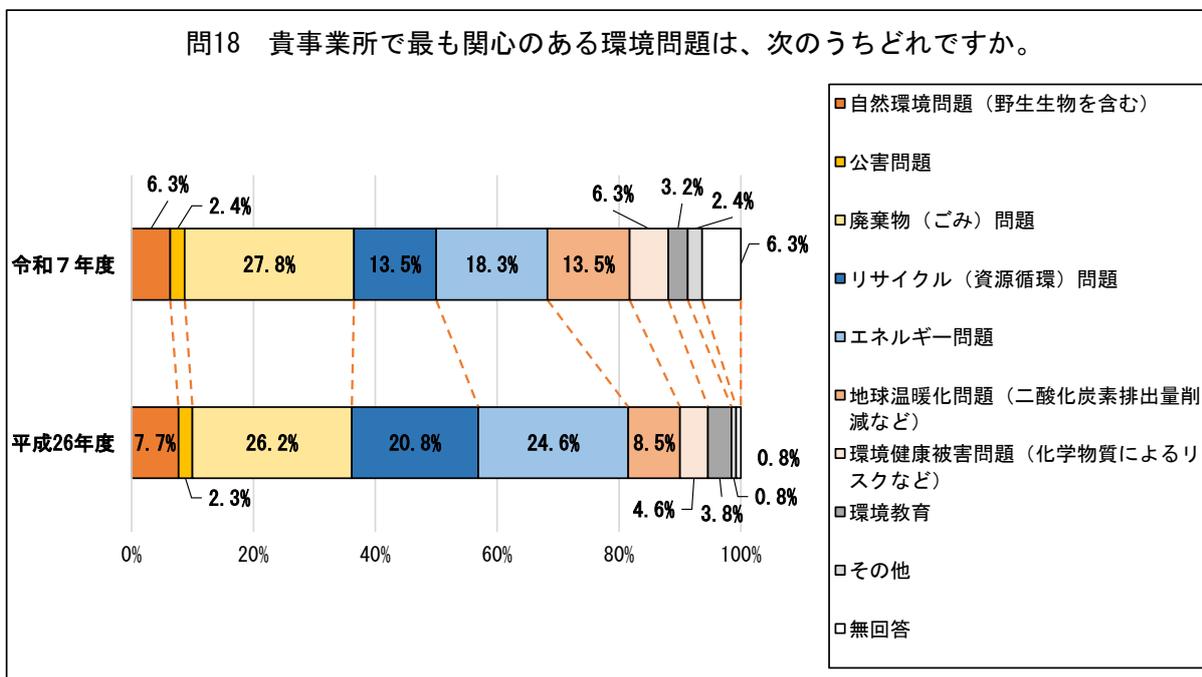
・「リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けている」の割合が65.9%で最も多く、次に「ほとんどの資源ごみは、それ以外のごみと分けて捨てるようにしている」と「どちらかといえば、資源ごみは分けて捨てることの方が多い」の割合が、いずれも14.3%であった。

・前回と比較して、「どちらかといえば、資源ごみは分けて捨てることの方が多い」が9.2%、「どちらかといえば、資源ごみとそれ以外のごみを分けずに捨てることの方が多い」が13.5%、「資源ごみと他のごみを混ぜて捨てている」が4.5%、それぞれ減少し、「リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けている」が11.3%、「ほとんどの資源ごみは、それ以外のごみと分けて捨てるようにしている」が前回0.0%だったものから14.3%に、それぞれ増加した。

・全体としては、「いつも分けて捨てる」と「ほとんど分けて捨てる」を合わせた割合が80.2%と大幅に増加しており、さらに「どちらかといえば分けて捨てる」の割合を加えると94.5%となり、リサイクル意識が向上していると考えられる。

問18 貴事業所で最も関心のある環境問題は、次のうちどれですか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
自然環境問題（野生生物を含む）	8	6.3	10	7.7	▲ 2	▲ 1.4
公害問題	3	2.4	3	2.3	0	0.1
廃棄物（ごみ）問題	35	27.8	34	26.2	1	1.6
リサイクル（資源循環）問題	17	13.5	27	20.8	▲ 10	▲ 7.3
エネルギー問題	23	18.3	32	24.6	▲ 9	▲ 6.3
地球温暖化問題（二酸化炭素排出量削減など）	17	13.5	11	8.5	6	5.0
環境健康被害問題（化学物質によるリスクなど）	8	6.3	6	4.6	2	1.7
環境教育	4	3.2	5	3.8	▲ 1	▲ 0.6
その他	3	2.4	1	0.8	2	1.6
無回答	8	6.3	1	0.8	7	5.5



【調査結果の概要】

- ・「廃棄物問題」の割合が27.8%で最も多く、続いて「エネルギー問題」で18.3%、「リサイクル問題」と「地球温暖化問題」がいずれも13.5%であった。
- ・前回と比較して、「自然環境問題」が1.4%、「リサイクル問題」で7.3%、「エネルギー問題」が6.3%、それぞれ減少し、「廃棄物問題」が1.6%、地球温暖化問題が5.0%、環境健康被害問題が1.7%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、無回答の割合が多かったということはあるが、廃棄物問題は前回に引き続き最も割合が多く、一方で、地球温暖化問題が多くなったのは社会的な関心の高まりが反映されていると考えられ、またリサイクル問題の割合の減少は、前問からも普及が進んできたことによると思われる。
- ・その他では、主に「空き家問題」、「マイクロプラスチック」という回答であった。

登米市の環境についての事業所アンケート調査

問19 環境問題、環境行政に関してご意見やご要望がありましたらご記入ください。

分野	主な意見（集約の上、要約）
自然環境	山林への大規模なソーラー等の施設は望まないが、適切な整備をお願いしたい。 登米市の恵まれた自然環境を大切にしてほしい。
生活環境	田畑の野焼きや個人の家でのゴミ焼却の取り締まりを強化してほしい。 気候変動により山火事のリスクが高くなる中、野焼きが気になるので、環境保護や防災の意識付けが必要だと感じる。 山林等の火事が多いので市民への啓発活動等の支援をお願いしたい。 大量のシュレッターくず資源ごみとして出したほうがリサイクルだと思う。 個人のゴミ分別の方法やルール認知度が弱いところがあり、収集業者への教育も必要だと思う。 産業廃棄物処理の経費が大きく困っている。
地球温暖化	地球温暖化による農水生産物の変化に驚いている。 再生可能エネルギーの設置に関する手続きが非常に困難なので規制緩和してほしい。 太陽光パネルが景観を悪くしてしまっている。
環境情報・環境教育	地球温暖化や自然環境問題の身近な対策として、何をすれば良いのか分からない部分があると思うので、簡単に情報提供をしてほしい。 社員に環境教育は行っているが、社員の自覚がまだまだ低い。
その他	空き家問題は、環境問題、防災問題、防犯問題等様々に影響を及ぼすと考える。